発災直後～3日後	～1週間	～1か月	1か月～

建物被害の発生
・揺れ、液状化、津波、市街地火災等によって多数の建物被害が発生
・木造密集市街地等を中心に、地震火災が同時多発
・道路状況等により、消火活動が困難となり、延焼が拡大
・浸水や倒壊等が発生し、庁舎が使用困難

屋外転倒物・落下物の発生

津波火災の発生

宅地造成地等の崩壊

堰堤・ため池棟の決壊

人的被害の発生
・建物被害や津波浸水に伴って、多数の死傷者・要救助者が発生
・地理に不案内な観光客や日本語が不自由な外国人、地震や津波に関する知識が少ない観光客等が避難行動をとれずに津波に巻き込まれ
・要配慮者の避難が困難

災害廃棄物の発生
・多数の建物被害により膨大な災害廃棄物が発生　・仮置場を確保できずに処理が遅滞
・工場や生産拠点、倉庫等の被災により大量の廃棄物が発生

災害廃棄物の発生
・建物の解体や災害廃棄物の処理等も長期化

災害応急対策等の支障
・庁舎等の被災により応急対策の拠点が失われ、復旧復興活動に支障

保健衛生、感染症、ご遺体への対応等
・多数の死者が発生した場合、遺体への対応が困難に

人的被害の発生
・長期湛水により救助まで時間を要する

地盤沈下による長期湛水の影響
・居住不可能となった湛水エリアの居住者の移転場所確保が困難

避難者の発生
・建物被害や津波浸水に伴って、自宅外への避難者も多数発生
・ライフラインやエレベーターの停止に伴い、高層ビルでの居住継続が困難となることで、大量の住民が避難者に

避難者の発生
・遠隔地の親戚・知人宅等への広域的な避難も発生
・仮設住宅等も確保が困難

災害関連死の発生
・劣悪な環境での避難生活を送る人や、遠距離の避難を強いられた人、必要な医療・生活支援を受けられなかった人等の災害関連死が増加

ライフラインの被害

電力の被害
・広域で停電が発生
・空調設備やエレベーターが停止し、ビル等の使用が困難
・電子機器の充電ができない
・停電により、消防団等の初動対応が不十分

通信の被害
・通信回線が輻輳し、被災情報等の入手も困難
・通信の途絶により、消防団等の初動対応が遅延
・スマートフォンの充電ができない
・安否確認や情報収集が困難
・住民への情報伝達は、非常用電源による防災行政無線、緊急速報メールや広報車等に限定
・電子決済機能に影響あり

ガスの被害
・都市ガスは振動に応じて自動的に供給が停止

上下水道の被害
・管路被害や浄水場被害により断水し、風呂やトイレが使用不可
・給水車が派遣されるものの、給水可能な範囲は限定的
・被災していない浄水場でも、停電の影響を受け、非常用発電機の燃料が無くなった段階で運転停止

電力の被害
・電力の融通が実施されるが、需要を満たすことは困難であり、節電要請や大規模な計画停電が実施

医療機能支障の発生
・非常用電源が配備されている施設以外は治療が困難

通信の被害
・燃料枯渇により基地局や中継局の非常用電源が切れ、通信や放送が困難

上下水道の被害
・被害の無かった浄水場・処理場においても、燃料枯渇により非常用電源が切れた場合、機能支障が拡大
・携帯用トイレ等が不足し、衛生状態が悪化

電力の被害
・徐々に停電解消が進むものの、引き続き節電要請や計画停電も実施

ガスの被害
・港湾が被害を受けた場合、LNGの輸入が困難となり、ガスが不足
・都市ガス使用の節約の取組の要請や大口需要家等への需要抑制の協力の要請等が実施

上下水道の被害
・宅地内配管が被害を受けた場合、施工業者に依頼が殺到し、復旧が進まない。

交通施設の被害

港湾・漁港の被害
・揺れにより岸壁に被害が発生し、津波により設備や航路に被害が発生することで機能停止
・流出したがれきや漂流物、流出した危険物による津波火災による航路の通行困難も発生
・漁船・船舶・水産関連施設も被災

空港の被害
・被害確認のため、空港が閉鎖

道路の被害・道路閉塞の発生
・道路設備の損傷、液状化、土砂災害等で通行止めが発生
・停電により信号が停止
・建物倒壊による道路閉塞や大渋滞が発生し、消防・救命活動に支障
・道路上の車に落石等が発生し、交通事故や人的被害が発生

鉄道の被害
・新幹線・在来線共に広域にわたり運転を見合わせ

孤立集落の発生
・土砂災害等により冗長化されておらず、迂回が困難な道路が被災した場合、その先が孤立
・港湾の使用制限により、離島が孤立

物資不足
・津波浸水地域に侵入できず、迂回路も渋滞することで、物流・人流が停滞
・避難所において、避難者の数に対する物資が不足

孤立集落の発生
・復旧作業の長期化や、建物等の復旧に係る大量の作業人員の必要性、膨大なコスト等を踏まえて、集団移転等を検討する必要性が生じる。

各種生活サービス
・公共交通機関や小売業に影響が生じ、揺れの強くなかった地域における生活インフラも支障

エレベータ閉じ込めの発生

大規模集客施設、地下街・ターミナル駅等の被害
・局所的に甚大な医療リソース不足（救命・救助の困難、医療搬送の困難等）が発生
・津波浸水地域では地下街へ津波流入

農林畜産業の停滞
・畜舎の被災や上下水道の支障、物流支障により農林畜産業の継続が困難
・斜面に位置する茶葉園の近隣において斜面崩壊の可能性

帰宅困難者の発生
・新幹線・在来線の見合わせに伴い、大量の帰宅困難者が発生
・外国人や旅行者も含まれていることから混乱が発生

文化財被害の発生

危険物施設被害
・沿岸部に多く立地する発電所や下水処理場に加え、LNG基地や製油所、油槽所も多数被災
・長周期地震動の影響が大きい場合には、浮き屋根式タンクの原油等が揺動するスロッシングによる被害が発生

複合災害の可能性
・地震後に台風や集中豪雨が発生した場合、地震で緩んだ斜面が崩落するなど、さらなる被害が発生
・火山噴火に伴う地震の場合、火山周辺で避難指示区域が設定され、避難者数がさらに増加

治安の悪化
・災害時の混乱に乗じて、盗難等の犯罪被害や、被災地外を含め、災害への不安や支援の善意を悪用した詐欺行為が発生
・地震に関連するデマ情報が流布

観光の被害
・観光資源となる施設や宿泊施設等も復旧が遅れ、観光産業へ打撃
・長期間にわたり旅行者が減少するほか、外国人観光客の日本離れが発生し、観光関連に伴う消費が低下

経済被害
・被害を受けたライフライン等の復旧に膨大な費用が掛かる
・工場や生産拠点、倉庫等が被災し生産能力が低下
・港湾が復旧できていない場合、物流機能が低下しサプライチェーンも回復せず、材料や製品の輸送が困難
・各企業の財務状況の悪化等に伴って、被災した工場や石油コンビナート等の復旧が難しくなり、生産拠点が撤退